

## 1日 木曜

### 詩篇

<ダビデによる。>

37:1 悪を行う者に腹を立てるな。不正を行う者にねたみを起こすな。

37:2 彼らは草のようにたちまちしおれ青草のように枯れるのだから。

37:3 【主】に信頼し善を行え。地に住み誠実を養え。

37:4 【主】を自らの喜びとせよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。

37:5 あなたの道を【主】にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。

37:6 主はあなたの義を光のようにあなたの正しさを真昼のように輝かされる。

37:7 【主】の前に静まり耐え忍んで主を待て。その道が栄えている者や悪意を遂げようとする者に腹を立てるな。

37:8 怒ることをやめ憤りを捨てよ。腹を立てるな。それはただ悪への道だ。

37:9 悪を行う者は断ち切れ【主】を待ち望む者彼らが地を受け継ぐからだ。

37:10 もうしばらくで悪しき者はいなくなる。その居所を調べてもそこにはいない。

37:11 しかし柔和な人は地を受け継ぎ豊かな繁栄を自らの喜びとする。

「悪を行う者に対して」私たちは、これに対抗して自分を守ろうとしますし、できれば彼らに打ち勝って正義を勝ち取ろうとします。悪いことではないかもしれませんが、それよりも有効な手立てがあると聖書は言います。

「腹を立てるな。…ねたみを起こすな。…主に信頼して善を行なえ。地に住み、誠実を養え。」ということです。正義はときとして必要以上に相手を



攻撃してしまうことがあり、それは新しい悪となり得るものです。またときには、自分だってあれくらい許されているのだと思い、悪を少なくなる気持ちが湧いてくる場合もあります。妙な「ねたみ」です。

ですから主に信頼することに間違いはありません。その結果私たちの義が「光のように」輝くと聖書は言っています。主に委ねましょう。主を信頼しましょう。主こそが善であり義なるお方です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

